

灼眼のシャナ (電撃文庫)



[灼眼のシャナ \(電撃文庫\) 下载链接1](#)

著者:高橋 弥七郎

出版者:メディアワークス

出版时间:2002-11

装帧:文庫

isbn:9784840222181

内容（「BOOK」データベースより）

新学期が始まったばかりの高校生・坂井悠二は、いつものように“日常”を生活していた。だが、彼はある日突然、“非日常”に襲われる。人の存在を灯に変え、その灯を吸い取る謎の男、フリアグネに襲われたのだ。悠二の“日常”生活は壊れた。しかし同時に、彼の前に一人の少女が現れた。少女はフリアグネから悠二を護るため、悠二のそばで生活を始める。悠二は感謝を込めて御礼を言うが、少女はこう呟く。「おまえは、もう『存在していない』のよ」自分はすでに死んでいる!?存在亡き者、悠二が考え、思うこととは…!?奇才・高橋弥七郎が贈る、奇妙な学園ストーリー。

作者介绍:

著者略歴（「BOOK著者紹介情報」より）

高橋 弥七郎

大阪生まれ。大阪在住(本データはこの書籍が刊行された当時に掲載されていたものです)

目录:

[灼眼のシャナ \(電撃文庫\) 下载链接1](#)

标签

高橋彌七郎

高橋弥七郎

電撃文庫

轻小说

灼眼のシャナ

日本文学

ライトノベル

f

评论

伟大的正典轻小说。

[灼眼のシャナ \(電撃文庫\) 下载链接1](#)

书评

创意永远是最重要的，这本书的创意不说空前绝后，但绝对能如一道闪电般刺瞎许多写了无聊的种马后宫穿越文的作者的狗眼。真正好的幻想小说不是莫名其妙架空一个世界，搞一篇鸿篇巨著出来，而是把幻想和现实交融，在现实中展现幻想世界，让读者看后会觉得也许真的就是如此，也许...

我在2010年十二月三十日正式读完了这本轻小说。小说中有一些一下子让人无法接受的概念，但是读久了对这种非常理的概念就渐渐接受了。小说中的打斗场面描写得非常好，故事也非常不符合常理，给人焕然一新的感觉，不得不承认高桥弥七郎真的是个奇才。

就引用小说第五卷中的一句话吧：

“所谓的命运，是借口的别名。为了隐瞒自己想撇清关系，把过错推卸给他人的心态所准备的，刻意渲染成任何人也无法忤逆的无穷力量，说穿了只是虚张声势的名词罢了。”

看过这个动画片，不过没看进去！不晓得是年龄不对头还是当时的状态不对头。不过名字很喜欢、画风很喜欢！希望总有一天发现它的精髓之所在！

[灼眼のシャナ \(電撃文庫\) 下载链接1](#)